

サブドレン他水処理施設の運用状況等

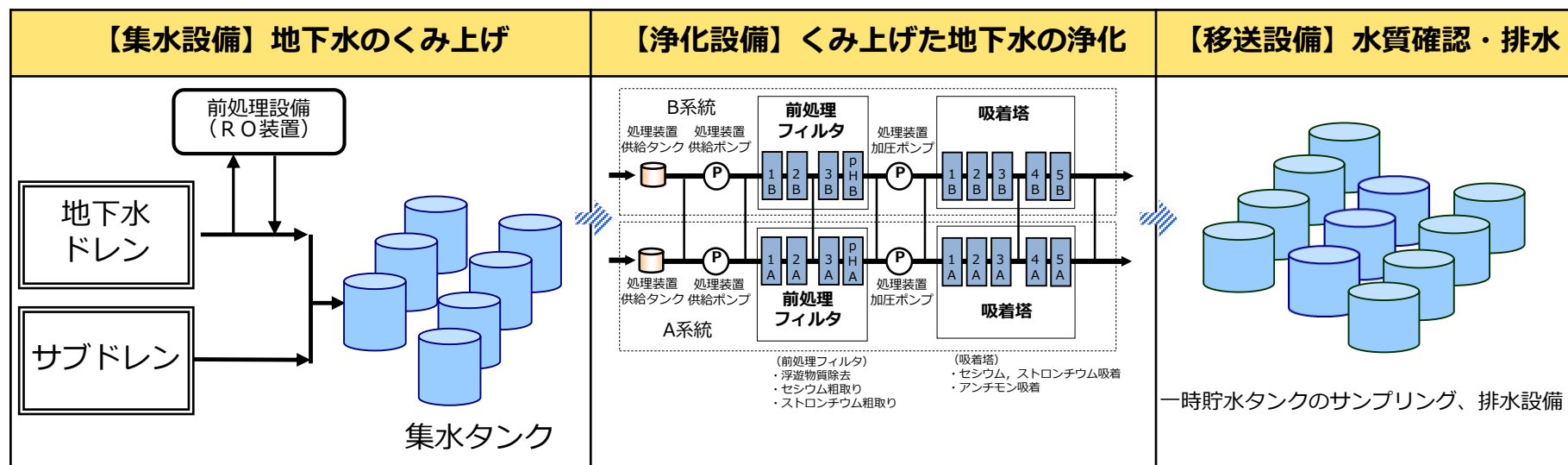


2026年 10月 1日

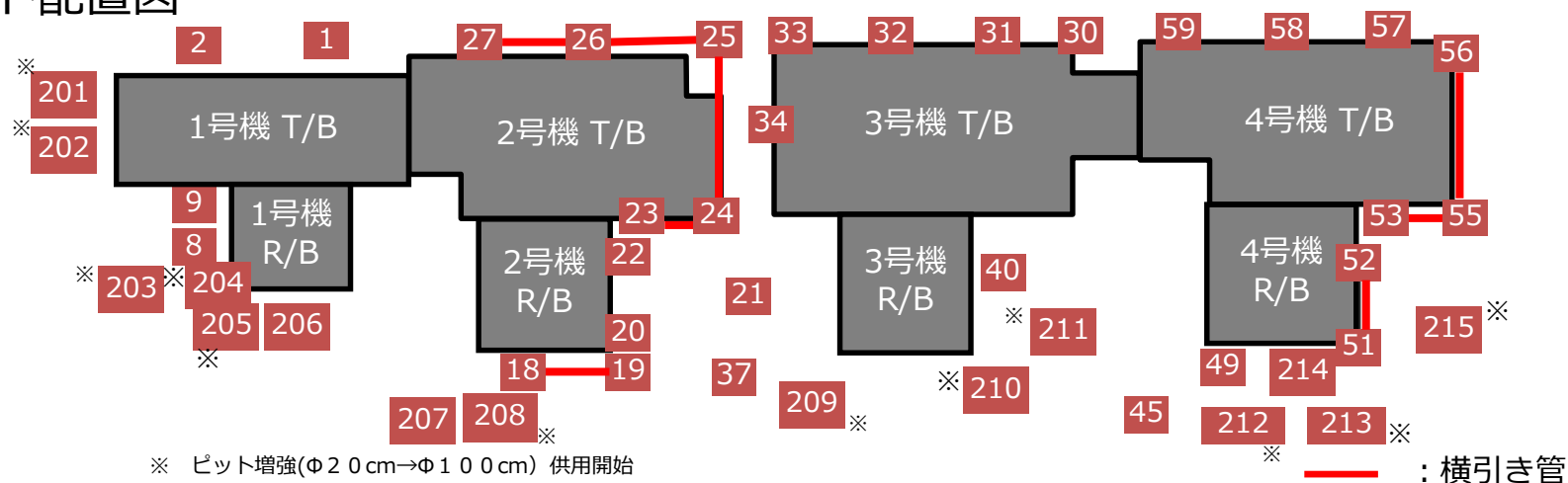
東京電力ホールディングス株式会社

1-1. サブドレン他水処理施設の概要

・設備構成

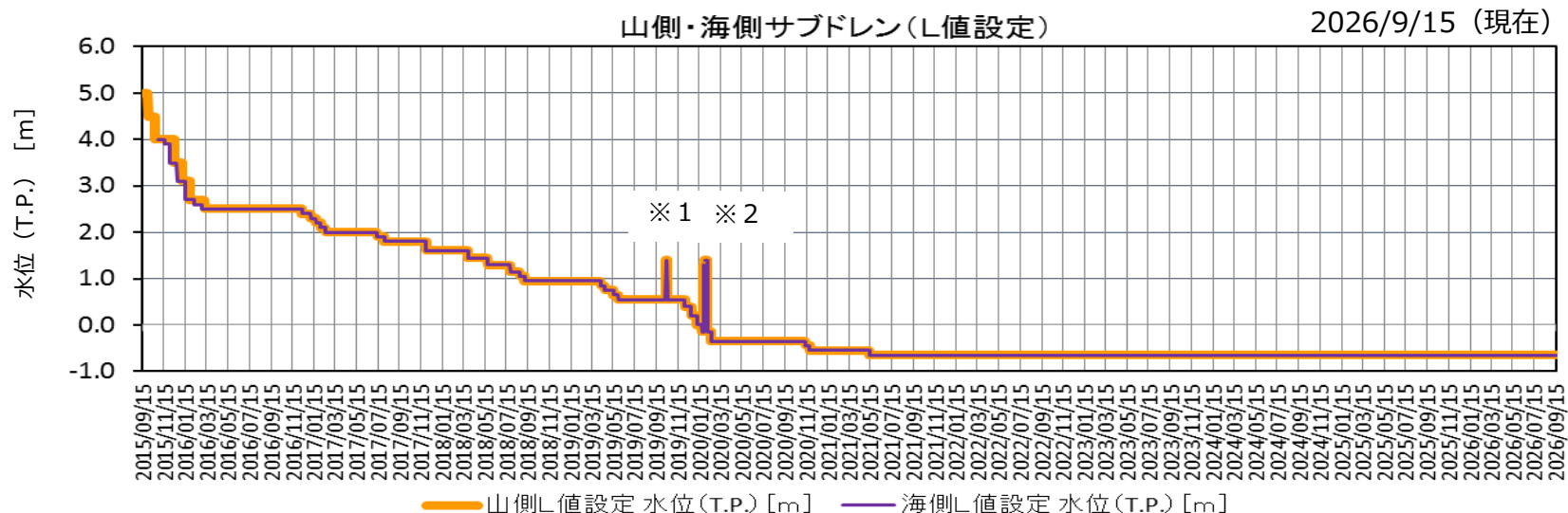


・ピット配置図



1-2. サブドレンの運転状況（24時間運転）

- 山側サブドレン設定水位のL値をT.P.+5,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年9月17日～、L値設定：2021年5月13日～T.P.-650mmで稼働中。
- 海側サブドレンL値をT.P.+4,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年10月30日～、L値設定：2021年5月13日～T.P.-650mmで稼働中。
- サブドレンピットNo.30,37,57を復旧し、2018年12月26日より運転開始。No.49ピットは復旧後、2020年10月9日より運転開始。
- サブドレンピットNo.21は、2号機燃料取り出し構台の設置工事に干渉するため、移設を行い、2022年10月7日より稼働を開始した。
- サブドレンNo.40ピットにて2022年4月21日に油分（低濃度PCB含有：0.56mg/kg）をうけ、周辺ピット（No.40,210,211ピット）の停止及び油分拡散抑制として、鋼矢板の設置等を行い、2023年10月2日よりNo.210,211ピットを再稼働し、2023年11月8日から連続運転に移行した。
- その他トピックス
 - ・特になし



※1 台風19号対応として10月12～15日の間、一時的に全ピットのL値をT.P.1400mmに変更した。

※2 1月の大雨に備えて基本のL値をT.P.1300mmとし、2月7日に水位設定値を元に戻した（L値:T.P.-0.15 m）

1-3. 至近の排水実績

- サブドレン他水処理設備においては、2015年9月14日に排水を開始し、2026年9月15日までに3,027回目の排水を完了。
- 一時貯水タンクの水質はいずれも運用目標（Cs134=1, Cs137=1, 全β=3, H3=1,500(Bq/L)）を満足している。

排水日		9/11	9/12	9/13	9/14	9/15
一時貯水タンクNo.		D	L	H	A	F
浄化後の水質 (Bq/L)	試料採取日	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10
	Cs-134	ND(0.75)	ND(0.71)	ND(0.77)	ND(0.85)	ND(0.78)
	Cs-137	ND(0.65)	ND(0.74)	ND(0.63)	ND(0.73)	ND(0.83)
	全β	ND(2.1)	ND(1.8)	ND(1.9)	ND(1.9)	ND(0.62)
	H-3	360	370	380	330	210
排水量 (m ³)		908	913	730	764	1,001
浄化前の水質 (Bq/L)	試料採取日	9/4	9/5	9/6	9/8	9/9
	Cs-134	ND(5.1)	ND(3.6)	ND(4.2)	ND(4.9)	ND(5.1)
	Cs-137	90	77	90	79	50
	全β	—	—	—	340	—
	H-3	350	350	450	350	170

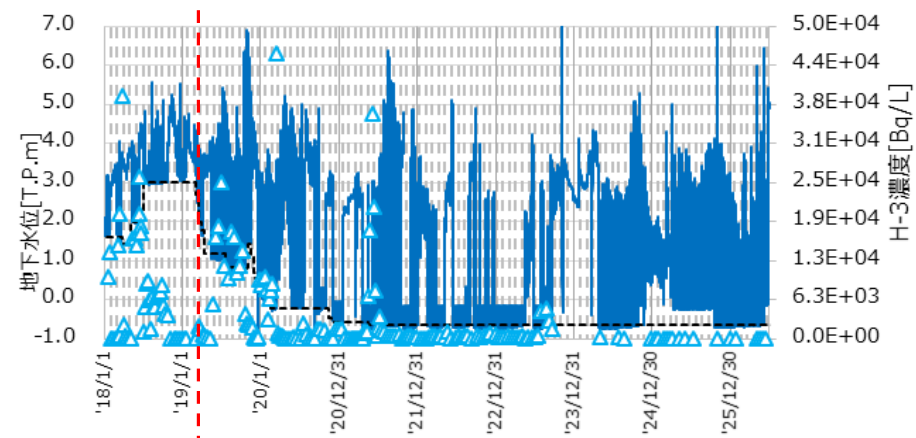
* NDは検出限界値未満を表し、() 内に検出限界値を示す。

* 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。

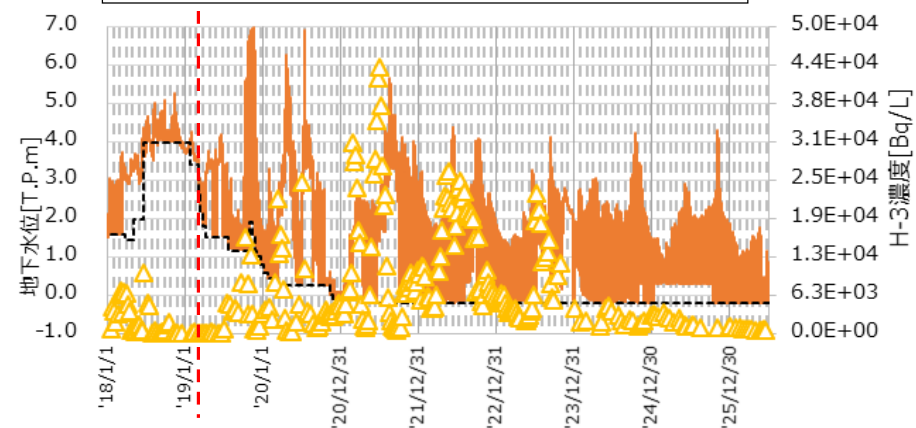
* 浄化前水質における全ベータ分析については、浄化設備の浄化性能把握のため週一回サンプリングを実施。

【参考】 1/2号機排気筒周辺サブドレンピットの水質

2019/2/6地改良完了

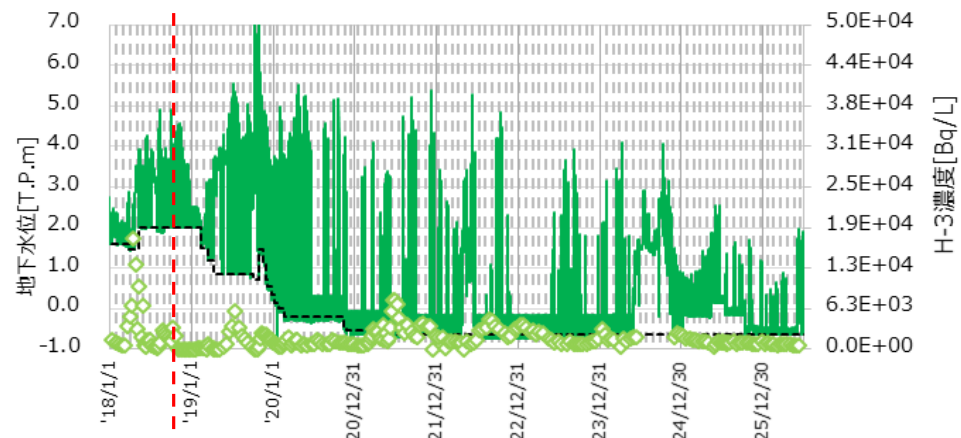


(凡例) — SD206 - - - L値 △ SD206 H3濃度

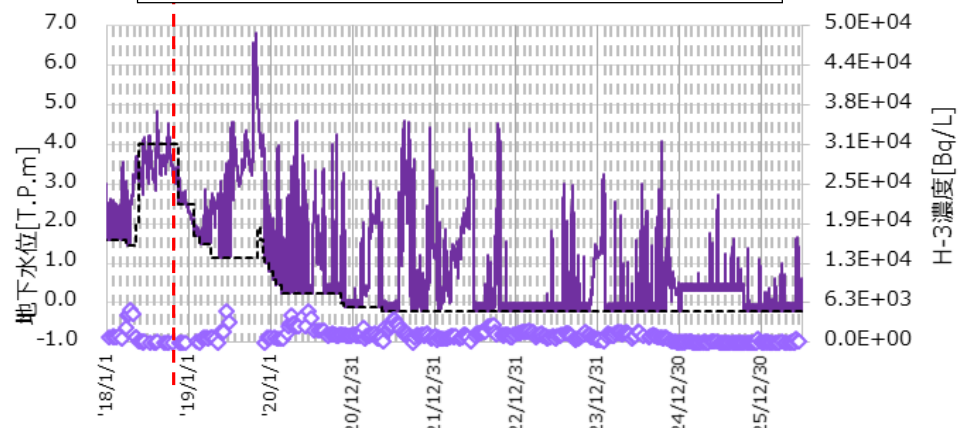


(凡例) — SD205 - - - L値 △ SD205 H3濃度

2018/11/6地盤改良完了



(凡例) — SD207 - - - L値 ◇ SD207 H3濃度



(凡例) — SD208 - - - L値 ◇ SD208 H3濃度